

標 題 たまねぎ大規模栽培向けの収穫・調整機械実演会を開催しました！

(ダイジェスト)

5月24日、出雲市平田町の(株)O農産ほ場にて、たまねぎの収穫機(オニオンハーベスター)、調整機(タッピングセレクタ)の実演会を開催しました。これまで県内での導入事例のない大型機械であり、その作業性・効率性に参加者から驚きの声が聞かれました。

出雲市平田町の(株)O農産では本年産からたまねぎ栽培を3ha規模で開始しています。また、数年後には20haまで規模拡大を計画しているため、大規模栽培に対応した機械化一貫体系の導入が必要となっています。そのため、たまねぎ栽培初年度ながら、県内では導入事例のない大型機械を導入し栽培をしています。

今回は導入した機械のうち、収穫機(オニオンハーベスター)と調整機(タッピングセレクタ)の実演会をJAしまねとの共催で開催しました。当日は、生産者や関係者約60名参集のもと、オニオンハーベスターによる拾いあげ、タッピングセレクタによる根葉切り作業が実演されました。参加者からは「今まで見たことのない機械の作業を間近で見ることができ有意義であった」、「作業効率の高さに驚いた」等の感想が聞かれました。

一方、実演会時のたまねぎでは水分含有量がまだ高く、機械が止まる場面も見られました。このため、機械化体系導入には、機械に合わせた作業スケジュールの検討がより重要であることが分かりました。

技術普及部としては、今後も関係機関と連携してこの取組を支援し、栽培規模に応じた機械化体系の提案ができるよう検討します。



【実演会の様子】



【オニオンハーベスター】



【タッピングセレクタ】